

発言No. 4

受付No. 10

令和8年2月12日

16時39分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 19番

氏名 佐々木 豊治

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 空家対策について

- ① 浜田市において危険空家の件数をどのように把握しているか伺う。
- ② 危険空家対策強化についてどのように取り組んでいるのか伺う。
- ③ 実際に改善や除去につながった事例はどれくらいあるのか伺う。
- ④ 改善の実効性を高めるための課題について伺う。
- ⑤ 令和5年(2023年)12月に「空家等対策特別措置法」が改正され、各自治体が所有者への助言・指導や命令・代行措置を導入できるようになり、より強い要請が所有者に対してできるようになったが、その効果について所見を伺う。
- ⑥ 解体に対する補助金について、特に危険空家が複数存在する市街地においては、補助率を上げたりする取組は考えられないか伺う。
- ⑦ 危険家屋を解体して更地にした場合、住宅用地特例による固定資産税の軽減措置が解除されることにより、税負担が増加する制度となっているが、先日視察した福岡県豊前市では、解体後の土地に対し、特例解除による増税分を軽減する制度を設けている。

危険空家対策の一助になっているようだが、参考に検討すべきと思うが、所見を伺う。

2. AI 活用のデマンドタクシーの取組について

- ① AI 活用の公共交通の検討状況について伺う。
- ② 参考にされようとしている事例があれば伺う。
- ③ あいのりタクシー事業の進捗と効果についてどのように評価されているのか伺う。
- ④ 熊本県荒尾市の令和2年度から AI を活用したオンデマンド型相乗りタクシー事業「おもやいタクシー」を視察した。

本事業は、2年間の実証実験を経て、利用者の予約情報を基に AI が配車および運行ルートを最適化し、複数の利用者が相乗りすることで効率的な運行を行い、市内全域を対象に実施している。予約はスマートフォンアプリまたは電話により受け付けており、幅広い世代が利用可能な体制を整えている。運行時間は8時から17時までで、利用料金は300円から700円。2台のタクシーを活用し市内全域を運行エリアとしている。

本事業の実施により、路線バスでは対応が困難であった時間帯や地域における移動手段が確保され、市民の利便性向上が図られている。また、相乗りによる運行効率の向上により、公共交通全体のコスト抑制にも寄与しており、既存の路線バスを補完する交通手段として一定の成果を上げている。

利用者も年々増加し、始めた令和2年度は4千人だが令和6年度は1万6千人の利用となっており、3割が相乗りになっている。費用はシステム利用、オペレーターを含め1600万円。

参考にしてほしい事例と思うが所見を伺う。

3. 不登校対策について

- ① 国は誰一人取り残されない学びの保証に向けた不登校対策「ココロプラン」を令和5年に打ち出し、不登校対策として、これまでの「学校へ戻すこと」から、「学びの場を確保し、孤立させないこと」へと舵をきった。

ココロプランの柱は3つ、学びの場の確保、早期 SOS キャッチ、安心できる学校へと認識しているが、特に重要とされているのが「学校に行けない時間を、

学びがない時間にしてはいけない」という点とされている。

当市において、ココロプランの特に学びの場の確保についての取組を伺う。

- ② 不登校の子どもは年々急速に増加しており、特に島根県や当市においてもその率は高い状況にあると認識しているが、直近の現状を伺う。
- ③ そのうち、長期欠席の子どもが何人くらいいるのか伺う。
- ④ 不登校対策として早期の対策が重要とされているが、早期の対応をどのように行っているのか伺う。
- ⑤ 県は校内教育支援センターの支援員を配置する市町村を支援する事業を拡充している。校内フリースクールを施政方針では中学校への拡充としているが、来年度の配置状況を伺う。

4. 施設整備について

(1) 郷土資料館の建替えについて

- ① 施政方針にも建て替えに向け早急に取り組むとあるが、今後、どのような過程を経て建替え整備されようとするのか伺う。
- ② 建替え整備時期の見通しについて伺います。

(2) 石見神楽保存拠点施設について

- ① 石見神楽保存拠点施設基本構想検討委員会で最終的な議論を経て、「基本構想案」が今後示されようとしている。
構想案には「郷土資料館など他の文化施設等との複合施設とはせず、石見神楽に特化した拠点施設が望ましい」との方針が示されており、今後の整備の大きな論点になってくるものと思うが、どのように判断されていくのか伺う。
- ② 舞殿については拠点の象徴となる空間との表現で、重要な位置付けとなっている。ある程度は方針に沿った整備が必要と想定するが、所見を伺う。
- ③ 施政方針では、この施設整備については、さらに市民のみなさんの意見を聞いて判断するということだが、特に対象とされている市民像とはどのあたりなのか伺う。

5, 新たな県事業への取組について

(1) 有害鳥獣の捕獲の担い手確保・育成の事業について

- ① 緊急猟銃制度が施行され、そのガイドラインには「年2回以上の射撃訓練をしていること」とある。猟銃の技術向上のため、県外で行う散弾銃やライフル銃の射撃練習について県も助成を行うこととしているが、浜田市での取組を伺う。

(2) 企業向け外国人材のための日本語学習支援について

- ① 総合的な日本語学習機会について、学習コンテンツ配信事業者から動画による学習を受けられるよう提供される事業が始まる。
企業負担も少しあるようだが、該当の事業者に周知していくべきと思うが所見を伺う。